

豊田市長 太田 稔彦 様

益富地域会議 提言書



益富地域会議委員

会 長 黒田 隆

副会長 橋本 卓美

委 員 梅木 貴仁 加藤 弘一 岸和田 紀美代

木戸 彰彦 今野 貞直 櫻井 裕子 柴田 栄作

鈴木 勲 田中 強 鶴田 政勝 寺崎 謙二

古川 和彦 間瀬 亮次 森本 泰崇 山内 日出美

令和7年5月15日

益富地区における 地域課題解決に向けた豊田市への提言

益富地区は、高度経済成長期に開発された住宅地と古くから続く住宅地の両方で構成されており、緑豊かな自然環境と温かいコミュニティ、歴史深い文化が共存する地域です。特に、四季折々の風景を楽しむことができる里山や清流は、訪れる人々に癒しを提供するとともに、住民にとって誇りとなる資産です。さらに、清流に生息するゲンジボタルは、益富地区の自然の象徴でもあり、その幻想的な光は地域の魅力を際立たせています。これらの豊かな資源は、世代を超えた絆を育む地域交流の場として機能しております。

しかし、この地域においても少子高齢化や地域活力の低下といった課題に直面しているのが現状であり、私たち益富地域会議では、令和6年4月から地域の現状と将来の展望について熟議を重ねてきました。その中で特に日常生活や地域活動への影響が大きい高齢化の課題について、具体的な提言を取りまとめました。本提言が、益富地区の課題解決に寄与することを期待します。

益富地域会議 会長 黒田 隆

益富地域の「高齢化」に関する提言書

1 現状

高度経済成長期に開発された団地が多い益富地域では、開発当時に入居した住民が同時期に高齢者となるため、急速に高齢化が進んでいます。令和7年2月1日時点の益富地域における高齢化率は市内28中学校区で5番目に高い40.3%となっており、高齢者夫婦のみの世帯や高齢者の一人暮らし世帯も増加しています。

地域での様々な活動に取り組んでいる高齢者がいる一方で、外出を控えて地域とのつながりを持たない人も見受けられます。また、運転免許証を返納される人が今後増加することも見込まれ、買い物や医療機関への通院など、日常生活における移動が困難になることも懸念されています。

2 目指す姿

高齢者になっても地域とつながりを持ちながら、安心して生き生きと生活できる地域を目指します。

具体的には、住民同士が気軽に交流できる場が充実しており、地域コミュニティの絆を深めることができる環境にあること、また、買い物や通院など日常生活における移動手段が確保されて高齢者でも自立した生活を送れる環境が整っていることです。

3 問題点

- (1) 住民の集いの場であるサロンや元気アップ教室など、高齢者が参加できる交流の場は各自治区等で既に開催されている。しかし、参加者が固定化し限定的であるため、参加していない人が孤立化するおそれがある。
- (2) 利用できる公共交通機関が限られており、今後、公共交通機関が増えることも見込めない。加えて高齢者が移動手段を確保するための情報も不足している。

4 解決策

現状及び問題点を踏まえて、益富地域会議では以下のことを提言します。

つきましては、豊田市においては本取組への支援、協力をお願いします。

(1) 高齢者の孤立化対策について

ア 交流の場を充実するための取組

幅広い世代と交流できる機会の創出及び既存の交流事業（例：地域でのサロン活動など）のさらなる充実

イ 孤立化している人及び孤立化しそうな人への支援

地域で孤立化の状況を把握し、支援する仕組みづくり（例：ボランティアによる安否確認及び現状把握、高齢者のためのホットラインの設置など）

(2) 地域における移動手段の確保について

地域に合わせた共助交通の仕組みの導入（例：住民が主体となって取り組むカーシェアリングなど）